

1 C-3 国宝 松本城
 開館時間: am8:30~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 12/29~31 *市立博物館と共通入場券
 観覧料: 大人610円 小中学生300円(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩15分 Tel.0263-32-2902

松本城天守・渡櫓・乾小天守は、秀吉の家臣であった石川数正・康長父子により戦国時代末期1593~94年にかけての築造と考えられています。現存する5重6階の木造天守としては日本最古。

2 C-3 松本市立 博物館
 開館時間: am8:30~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 12/29~1/3他 *松本城と共通入場券
 観覧料: 大人610円 小中学生300円(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩15分 Tel.0263-32-0133

県内では最も古い歴史を持つ博物館。松本「まるごと博物館」の中核施設で、松本城関連資料や国指定の重要有形民俗文化財コレクションは一見に値する。

3 C-1 重要文化財 旧開智学校校舎
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 3月~11月の第3月曜、12~2月の月曜(休日の場合は翌日)、12/29~1/3
 観覧料: 大人300円 小中学生150円(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩25分 Tel.0263-32-5725

明治6年(1873)に開校したわが国最古の小学校のひとつです。色ガラスなど端々に文明開化の息吹が感じられる擬洋風建築です。

4 B-1 県宝 旧司祭館
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 3月~11月の第3月曜、12~2月の月曜(休日の場合は翌日)、12/29~1/3
 入館無料 交通: 松本駅から徒歩25分 Tel.0263-32-5725

明治22年(1889)にフランスのクレマン神父によって建築された西洋館です。明治34年から27年の歳月を費やし、日本で初の本格的な[和仏辞典]を編纂し始めた建物でもあります。

5 C-1 市重文 高橋家住宅
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 ◆開館日: 3月~11月の土・日・祝 12月~2月の日曜(12/29~1/3は休館)
 入館無料 交通: 旧開智学校から徒歩5分
 Tel.0263-33-1818(開館日以外は 32-5725 旧開智学校へ)

現存する武家屋敷としては県内で最も古い(17世紀前半と推定)建物の一つ。松本藩が藩士の住まいとして所有していた、いわば官舎です。

6 C-4 なわて 縄手通り
 城の南総堀と女鳥羽川にはさまれて「縄のように細長い土手」というところから由来しています。四柱(よはしら)神社の参道として発達してきました。城下の風景を再現したような各店舗は玩具・骨董・駄菓子ほか、見ていだけでも楽しい歩行者天国通りです。

7 C-4 松本市 時計博物館
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3
 観覧料: 大人300円 小中学生150円(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩10分 Tel.0263-36-0969

故・本田親蔵氏が収集した貴重な和洋の古時計コレクションを中心に、常時約110点の時計を動いている状態で展示。古時計の時報もお楽しみください。

8 C-4 なかまち 中町通り
 白壁となまこ壁の土蔵が立ち並び、時代を遡ったかのような古き松本の風景が広がる蔵の町通り。江戸末期や明治に、この一帯が大火に見舞われ、主要な施設や町屋が多数失われました。再三にわたる火災から守るため、商人達の知恵で「なまこ壁の土蔵」が造られろに引き継がれています。蔵シツク館は中町の拠点。個性的な店がいっぱい。

9 D-4 松本市 はかり資料館
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3
 観覧料: 大人200円 小中学生無料(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩15分 Tel.0263-36-1191

蔵づくりの建物の中に全国のはかり約150点を展示。新たに第3展示室(旧三松屋蔵座敷)がオープン。市内の博物館ではユニーク度No.1。

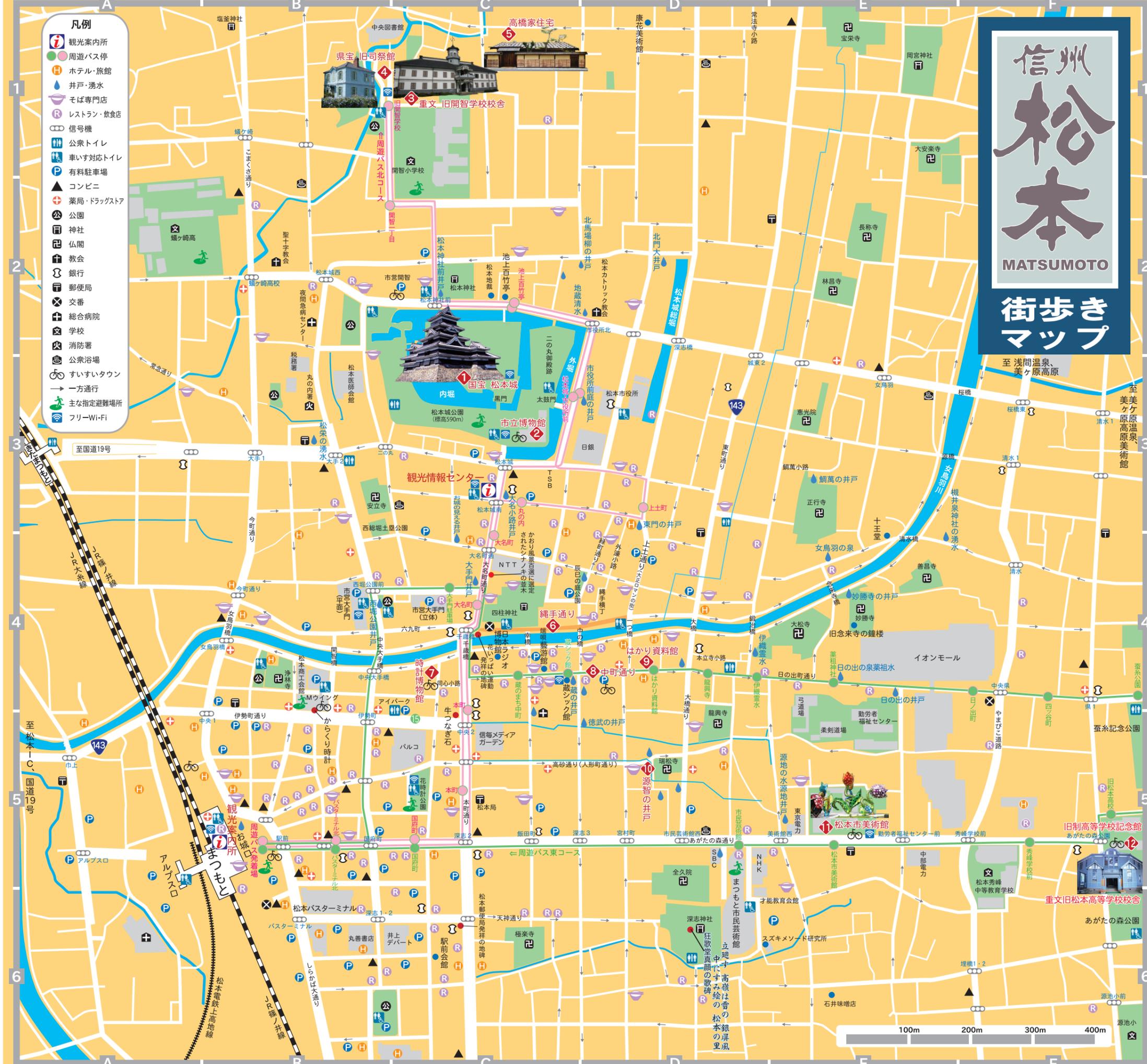
10 D-5 源智の井戸 ※別途【まつもと水巡り】マップをご用意しています。
 この井戸は、松本市内の名水の一つで、松本に城下町が形成される以前から飲用に用いられた古い歴史を持っています。天保14年(1843)に書かれた「善光寺道名所図会」によると、町の酒造業者はことごとくこの水を使い、歴代の領主は制札を出してこの水を保護したといえます。市内に点在する湧水は「まつもと城下町湧水群」として環境省の[平成の名水百選]に認定されました。

11 E-5 松本市 美術館
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/2
 観覧料: 大人410円 大高生200円(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩15分 Tel.0263-39-7400

前衛芸術家 草間彌生、書家 上條信山、洋画家 田村一男など、松本ゆかりの作家の作品や、山や音楽をテーマとした作品を収蔵・展示。(特別展は別途入場料)

12 F-5 旧制 高等学校記念館
 開館時間: am9:00~pm5:00(入場はpm4:30まで)
 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3
 観覧料: 大人300円 小中学生無料(団体割引あり)
 交通: 松本駅から徒歩23分 Tel.0263-35-6226

ヒマラヤ杉に包まれた重文旧松本高等学校の敷地内。明治以降、多くの人材を輩出した旧制高等学校の教育と精神を伝える、全国初のパンカラ風記念館。



無料観光ガイドのご案内 ◆通年実施 (年末・年始除く) まちなか観光ボランティアガイド

●松本市観光情報センター 0263-39-7176

ご予約に応じ、松本城、旧開智学校などの名所はもちろん、城下町の見所をご案内します。地元の魅力を知り尽くしたガイドと共に「まち巡り」をお楽しみください。
10:00～16:00の間で、標準2時間コース。1時間～1日、時間とコースはご相談を。《原則1週間前までに要予約》

無料貸出し自転車のご案内 ◆通年実施

すいすいタウン ●松本市交通安全・都市交通課 0263-34-3000

松本駅前や城口自転車駐車場、松本駅北自転車駐車場、中央公民館、開智駐車場、中町駐車場、松本市立博物館、松本市時計博物館、松本市美術館、旧制高等学校記念館

力車 ●大名町商興会 0263-35-5533

中心市街地の商店、宿泊施設などに設置。大名町の商店とホテル旅館組合がサービス。宿泊先のホテル・旅館から自転車に乗って、そのまま市内観光に出かけましょう！

■「松本おかみさん会」のおもてなし

おもてなしマークを掲示のお店で「茶」「トイレ」「椅子」をサービス。ご利用ください。

各種お問合せ先のご案内

- 松本ホテル旅館協同組合.....0263-33-5025
- 浅間温泉観光協会.....0263-46-1800
- 浅間温泉旅館協同組合.....0263-46-1224
- 美ヶ原温泉旅館協同組合.....0263-33-2353
- J R 東日本 (列車時刻、運賃・料金、空席情報).....050-2016-1600
- J R 東日本 (お忘れ物).....050-2016-1601
- 松本電鉄上高地線(新島々駅).....0263-92-2511
- 休日・夜間緊急急案内サービス.....0570-088-199
- 松本駅前バスターミナル.....0263-32-0910

タクシー(市外局番はいずれも0263)

- 松本タクシー.....33-1141 アルピコタクシー...87-0555
- 第一交通.....27-3332 メトバタクシー...46-1818
- 相互タクシー.....26-0005 アルプス交通...58-2021
- 平成交通.....58-2199

当日の宿泊ご紹介します

松本市内での宿泊ご希望で、当日の宿をお探しの方、斡旋いたします。(受付9:00～17:30)

- 「松本市観光案内所」J R松本駅内 0263-32-2814
- 「松本市観光情報センター」大名町通り 0263-39-7176

松本観光でお気づきのこと、ご提案等々お教えてください。

松本観光コンベンション協会 0263-34-3295

- 〒390-0874 松本市大手3-8-13 松本市役所大手事務所1F
- e-mail yokoso@matsumoto-tca.or.jp

<https://visitmatsumoto.com/>

13 A-3 松本市 歴史の里

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)、12/29～1/3
観覧料:大人400円 中学生以下無料(団体割引あり)
交通:長野自動車道松本I.C.から車で3分。
バス:タウンズニーカー西コース「浮世絵博物館・歴史の里」下車。
たてもの野外博物館として、信州の近代をテーマに貴重な建物を移築復元。
◆重要文化財旧長野地方裁判所松本支部庁舎 ◆旧松本少年刑務所独居舎
◆木下尚江生家 ◆工女宿宝来屋 ◆旧昭和興業製糸場 ◆川島芳子記念室

14 A-3 日本浮世絵博物館

開館時間:am10:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)、12/29～1/3
観覧料:大人1,000円 小学生以下無料(団体割引あり)
交通:長野自動車道松本I.C.から車で3分。
バス:タウンズニーカー西コース「浮世絵博物館・歴史の里」下車。
松本出身の紙の格式問屋・酒井家五代が、200年にわたり蒐集してきた日本を代表する浮世絵の殿堂。約10万点に及びるコレクションには、肉筆、版本を含め、浮世絵の初期から現代版画までが網羅されています。

15 B-3 山と自然博物館

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)、12/29～1/3
観覧料:大人300円 中学生以下無料(団体割引あり)
バス:アルプス公園行き「アルプス公園」下車。
水辺、里、山、山岳をキーワードに自然の生態系を展示。明治から昭和の登山用具、植物標本、野鳥・小動物の剥製や昆虫標本を計3万点収蔵。

16 B-3 鈴木鎮一記念館

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)12/29～1/3
観覧料:入館無料
バス:浅間温泉線(信大経由)「元原町」下車。徒歩5分。
才能教育の創始者・鈴木鎮一氏の邸宅。カザルスやロストロポヴィチなど、世界の巨匠たちもたびたび訪れています。スズキメソッドの真髄が伺えます。

17 C-3 松本 民芸館

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)、12/29～1/3
観覧料:大人300円 中学生以下無料(団体割引あり)
バス:美ヶ原温泉行き「松本民芸館」下車。徒歩2分。
ケヤキ林につつまれた なまこ壁の蔵造り。静かな館の中に心温まる民芸品約1,000点が展示されています。地方では規模・内容とも屈指の民芸館。

18 C-3 針塚古墳

交通:松本駅前から車で約15分。
里山辺の薄川にある5世紀後半に造られた古墳です。直径約20m、高さ約2mの円墳で、その周りを幅1.6m～2.9mの溝が囲んでいます。発見された土器の形式から、この古墳の築造年代が分かりましたが、被葬者の系統や実態、生産基盤などは解明されておらず、まだまだ謎の多い古墳です。

19 C-4 林城址

筑摩山地の西側に突き出した尾根に構築された林城と一括される大城と小城。戦国時代の初め、松本がまだ深志と呼ばれていた頃の、信濃の守護・小笠原氏の主城。今の国宝松本城は、当時はこの林城を支える一つの城にすぎませんでした。堅堀の構造・配置など山城の特徴的な構造を今も留めています。

20 C-4 弘法山古墳

中山丘陵の北端にある、全長66mの前方後方墳です。出土品の特徴から、3世紀末ごろの墓であることが判明。東日本でも最古級です。中国の半三角縁四獣鏡や鉄剣、鉄斧などの出土品は県宝に指定されています。東に鉢伏山、西に北アルプスが展望でき、約2,000本の桜が咲き誇り、花見シーズンは多くの人出で賑わうスポット。ぼんぼりに照らされての夜桜も見ごたえあり。

21 C-5 松本市立 考古博物館

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:3月～11月の月曜日(休日の場合は翌日)、12月～2月の土・日・祝以外の曜日、12/29～1/3
観覧料:大人200円 中学生以下無料(団体割引あり)
交通:松本駅前から車で約30分。
松本市域の考古学の拠点として、史跡弘法山古墳の出土品をはじめ、縄文から平安時代までの考古資料を展示しています。また、体験コーナーも設置。

22 A-4 窪田空穂記念館

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:3月～11月の月曜日(休日の場合は翌日)、12月～2月の土・日・祝以外の曜日、12/29～1/3
観覧料:大人300円 中学生以下無料(団体割引あり)
バス:山形線「和町郵便局」下車。徒歩3分。
文化功労者・歌人・国文学者 窪田空穂(本名 通治)を偲ぶ記念館。北アルプスを背に佇む本棟造りの生家とともに文学的静けさを漂わせています。

23 C-6 重要文化財 馬場家住宅

開館時間:am9:00～pm5:00(入場はpm4:30まで)
休館日:月曜日(休日の場合は翌日)、12/29～1/3
観覧料:大人300円 中学生以下無料(団体割引あり)
バス:寿台線か松原線「寿台東口」下車。徒歩10分。
「雀籠し」と呼ばれる棟飾りを付けた本棟造りの主屋他、江戸時代末期建築の主要建物が屋敷林や土壁など周囲の環境と共に保全されています。

24 D-6 重要文化財 牛伏川フランス式階段流路

正式名称:牛伏川本流水路(牛伏川階段工)。鉢伏山横峰を源流とする牛伏川は大変な暴れ川でした。水害対策のため明治18年内務省直轄の砂防工事が進められ、明治31年からは長野県が引き継ぎ、大正7年に完成。フランスのサニエル渓谷にある階段工を参考に設計され、延長141m、落差23mの間に19基の階段状の「空石三面張水路」を連続させ、美しい落水表情を造りだしています。

